

## 集中豪雨発生のメカニズム

梅雨前線に太平洋高気圧の**暖湿気流**が連続的に流入し、**山**に当たって上昇し、冷えて水蒸気が雨になる。



我が国で集中豪雨の降るメカニズムは非常に単純です。

平成 16 年 7 月新潟・福島豪雨での雨の降り方を例にしてみると、梅雨前線に南の太平洋高気圧から暖かくて湿った空気が連続的に流入し、ここに入道雲 (= 積乱雲) が発達しました。この札幌でも冬に大雪が降りますが、これは冬期、日本海に入道雲が発達して雪を降らせるわけです。雨も雪も、連続的に大きな雨量あるいは積雪量はこの入道雲が原因です。そして、この暖かく湿った空気が山にぶつかると冷えて、水蒸気が雨になります。このように、山と暖湿気流がセットになれば、我が国はどこでも集中豪雨が降るということを知っていなければなりません。決して局所的に降りやすいところが我が国にあるわけではなく、暖かくて湿った空気が連続的に流入し、そこに山があると必ず雨が降るというわけです。